

事業名	新しい高校づくり推進事業費			調書番号	104
細事業名	高校改革アンケート調査費	財務コード	226505		
担当部課室	教育委員会	高校改革・特別支援教育 課	高校改革	担当 (内線)	8322

事業の概要

実施期間	始期 H6 年度 ~ 終期 年度	
実施主体	県(直営)、県(委託)	
目的	だれ(何)を対象に 県(高校改革担当)	その対象をどのような状態にして アンケート調査により、生徒、保護者、教員の高校制度に対する考えや意見を把握している。
内容	結果、何に結びつけるのか 高校改革の推進及び魅力ある高校づくり	
調査方法:無作為に抽出した標本に対してアンケート用紙を配付する。 調査対象:約5,600件 中学3年及びその保護者(10%程度抽出) 高校1年及びその保護者(10%程度抽出) 中学教員(該当校全クラス担任) 高校教員(該当校全クラス担任) 主な調査項目:高校選択の理由、在籍する高校の満足度、学科に期待すること、キャリア教育推進に求められること、希望(在籍)高校の設置地域、入試日程、前期募集 等 実施時期:12月~2月		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	調査対象者へのアンケートの実施数	目標 5,566	5,703	5,813	5,613	5,649	5,349	5,600
	実績(見込)	5,566	5,703	5,813	5,613	5,649	5,349	
	達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
成果指標	アンケート調査回収率	目標 5,566	5,703	5,813	5,613	5,649	5,349	5,600
	実績(見込)	5,431	5,550	5,638	5,321	5,494	5,242	
	達成率	97.6	97.3	97.0	94.8	97.3	97.3	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		162	135	165	156	161	158	167

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	90%以上の回収率を維持しており、高校改革(高校再編等)に必要なデータが収集できており、意図した成果をほぼ上げている。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

関係との必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	説明			
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	時代の変化等を踏まえ、調査項目等の見直しを行うことにより、県立高校の次期長期構想策定に必要なデータを収集できる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()		
	説明			
見直しの必要性	有	教育委員会における今後の高校教育展開のため、時代や時期、社会状況等を踏まえ、柔軟に調査項目を設定していく必要がある。		

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	今後の高校教育展開のため、時代や時期、社会状況等を踏まえ、柔軟に調査項目を設定し、調査を実施する。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。